

斯かる事が度々ありては命縮まると言つて池本警士の誹職を促す等以て其苦  
リしを知るべし。

同夜九時頃に至りては生所山原警牛宅を五十余名の団員之を襲ひ同人妻女を  
脅迫する等彼等の言語同断の行為は突に唾氣するに足る。

吾国労働運動、指導者と称する者眞に労働運動を解し居るや否や、罪なき  
老幼婦女子を襲撃し之を脅迫する事の果して文明国民とせり態度なるか、自  
覚せる労働者が労働運動とて取るべき合法的闘争手段なりと考ふるるか、  
吾人は突に彼等の無知を憐れまざるを得ざるなり。

此事件は山原警牛は直ちに電話を以て因島分署に報告し、池本警士は本  
人出頭並に工場よりは秘書田村房吉氏出頭、管轄外なるも因島分署より詳  
細報せり。平和なる對岸生名村には駐在巡査一名ありと云く、村民は突前争  
議団員の襲撃と村民の對する彼等の横暴なる振舞は奮激し、翌十日早朝因島  
護縣より前村の村民代表として村長、生名村駐在巡査と同道して巡査部長

訪ひて事件の経過を報告せりを以て同部長は生名村長と共に今若警察署  
に出頭事件を報告せらるを以て十日午後三時過か今若警察署よりは警部以外五  
大名の警官常徳安元を兼して生名村の来村せし是、事實取調べの上引揚せられたり。  
それより先、前村と同道する前村の行は生名村巡査は前村駐在巡査同道生  
名村へ引揚せられたり。  
本日三庄より工場前四の南より警官の角三中正を命ぜらるゝも聞かす屋外積説を不  
せざる者ありとありて三名の積米を命ぜらるゝ白なり。

明十日は中庄村在住の保安係員留守宅を襲撃するとの風説あり。

第四回 野原志との會見 午後二時より

- 會社側 工場長 笹子 謹久 主事兼事務部長 竹内十一郎氏
- 造機部長 西吹忠若氏 庶務課長 山崎政男氏
- 秘書 田村房吉氏